

## 学校再開のための具体的な取組

- 感染症対策を講じてもなお、感染の可能性が高い一部の学習活動や部活動等においては、指導方法や活動の形態を工夫すること。
- 部活動の活動時間等（休養日や活動時間の設定及び大会等の参加）については、「北海道の部活動の在り方に関する方針」を厳守すること。

## 【学習指導上の留意点】

## （感染の可能性が高い活動例）

- ・合奏や合唱、話す聞くなどのコミュニケーションを中心とした英語活動などを長時間続ける。
- ・柔道の組み手などの密着した運動を行う。
- ・家庭科の調理実習や理科の実験など、子ども同士がグループで活動を行う。
- ・長時間、机を向かい合わせにしてグループで話し合う。

## （工夫例）

- ・1学期に実施予定の「歌唱」や「武道」、「調理実習」「実験」の学習を2学期以降に実施する。
- ・1単位時間で実施する「歌唱」や「英語活動」の学習を短時間に分けて実施する。
- ・グループ学習は、短い時間で効果的に位置付けるとともに、座席の位置を工夫したり、通常よりも互いに音量を抑えた話合いにしたりする。

## 【運動部活動における留意事項】

- ・体育館など屋内の活動場所の換気をこまめに行うこと。
- ・更衣室は時間差で使用するなど、狭い空間での接触は避けること。
- ・大きなかけ声などの活動や、互いに接近したミーティング等は避けること。
- ・ボール等の使用後の定期的な手洗いを徹底すること。
- ・水分補給のためのボトルなどは個人で用意し、回し飲みはしないこと。また、水飲み場の衛生管理に努めること。
- ・複数人が使用する器具等については、定期的に消毒すること。
- ・柔道、剣道などの種目では、対人で密着した状態で行う練習は避け、一人で行う、当該種目に必要な体力を高める運動や、ゴムチューブやダミー人形などを用いた打ち込み練習、ICT機器を活用した技術理解を深める練習など、練習方法を工夫すること。
- ・ラグビー、バスケットボールなどの種目では、スクラムやタックルなどの身体接触を避け、仲間との距離をとったシュート練習やパス練習など、練習方法を工夫すること。

## 【文化部活動における留意事項】

- ・練習場所の換気を定期的に行うこと。
- ・活動場所を分散し、一部屋の人数を減らすなど、実施方法を工夫すること。
- ・吹奏楽部や合唱部などは、パートごとに時間差を設けて練習したり、子ども同士が手の届く距離で練習を行ったりしない、また、向かい合って練習を行ったりしないなど、練習方法を工夫すること。